

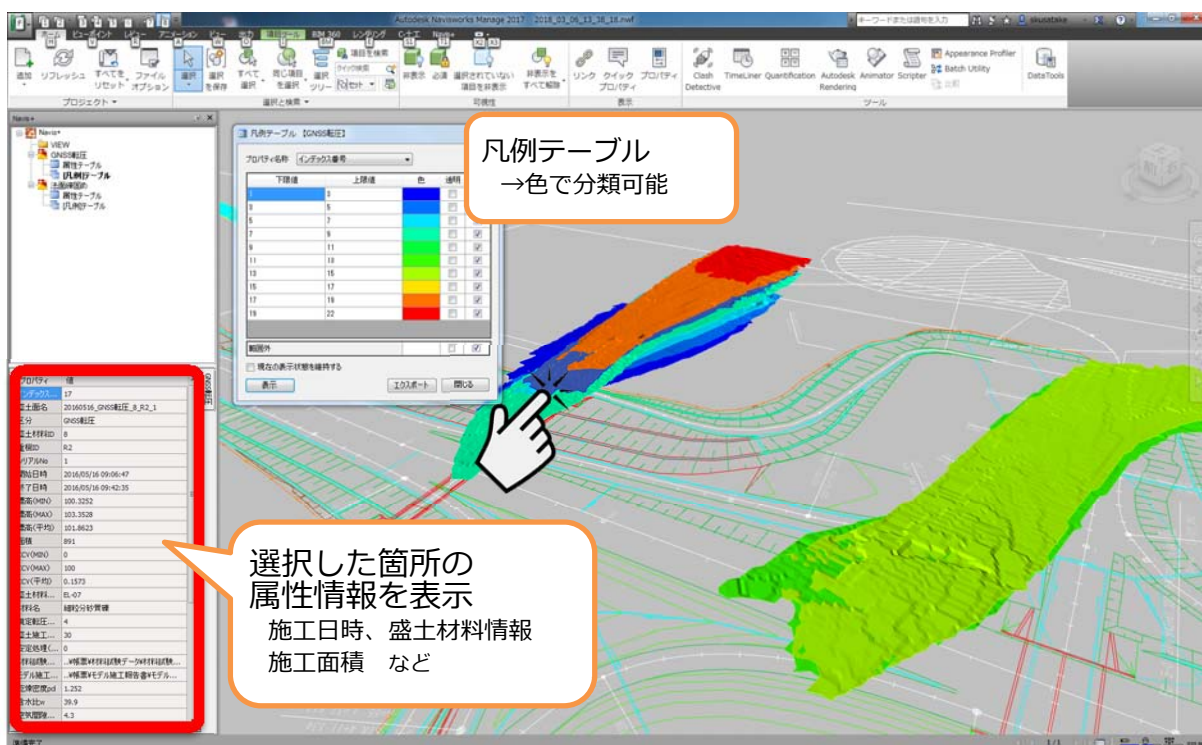
2018年6月15日

## 土構造物維持管理の効率化に向けた盛土CIM「SMC-GeoCIM」を開発・適用

- 3次元モデルによる可視化と盛土のトレーサビリティを一元管理 -

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、ICT（情報通信技術）建設機械の「盛土締固め管理システム」および「のり面締固め管理システム」による盛土施工データから3次元モデルを自動作成し、同時に「盛土施工管理票」の施工管理データを付加して盛土のトレーサビリティを一元管理するシステム「SMC-GeoCIM」\*を開発しました。

そしてこのたび、北海道で施工中の高速道路の現場において初適用し、省力化と生産性向上の効果を確認しました。

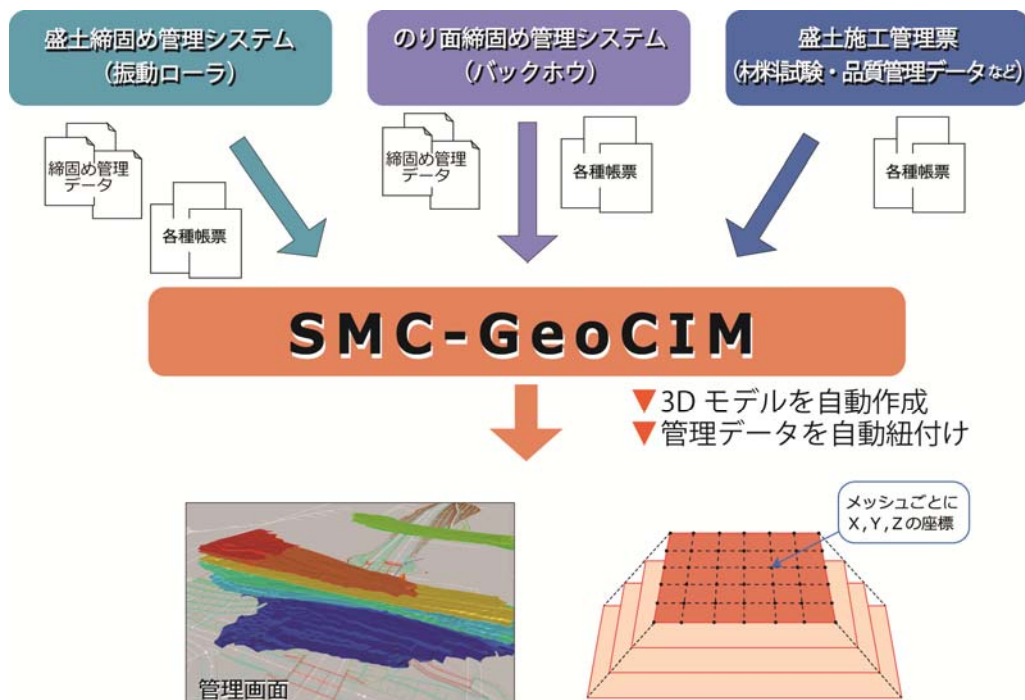


【管理画面のイメージ】

### ■ 「SMC-GeoCIM」の概要

本システムは、ICT建設機械の蓄積されたデータを活用したCIM（Construction Information Modeling / Management）によって、施工日時、施工条件や盛土材料などのデータを読み込み・登録して一元管理するものです。

登録されたデータはシステム上で自動的に紐付けされ、3次元のサーフェスモデルとして随時作成されます。また、3次元モデルから各帳票へのリンクも自動作成することができます。これにより、盛土やのり面全体の可視化とトレーサビリティが可能になりました。



【「SMC-GeoCIM」の概要図】

■「SMC-GeoCIM」の特長

(1) 施工管理業務の省力化

3次元モデルの自動作成と各種施工管理データの自動紐づけにより、盛土全体の施工状況や進捗度合を一元管理できます。

(2) 維持管理業務の効率化

施工状況を色識別で「可視化」し、トレーサビリティと任意箇所の情報検索が容易にできます。

■今後の展開

「SMC-GeoCIM」は、盛土におけるトレーサビリティの一元管理を実現しましたが、今後はこれに加えて切土の施工管理情報を付加することにより、切盛土工のトータル管理プラットフォームの実現を目指します。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

E-mail:information@smcon.co.jp

※ SMC-GeoCIMは、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社のC-土工を当社用にカスタマイズしたものです。